

# ホームページ公開用登録者データ

令和4年6月6日（公開日）

項目	内容
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 大学・公設試験研究機関 <input type="checkbox"/> 医療・福祉・健康関連団体 <input type="checkbox"/> 金融機関 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
機関名	株式会社 秋田屋本店
所在地	〒500-8471 岐阜市加納富士町 1-1
URL	<a href="https://www.akitayahonten.co.jp/">https://www.akitayahonten.co.jp/</a>
機関等の概要	資本金 50 百万円                      従業員数 243 人                      売上高 7,576 百万円  事業内容： 農業分野へのポリネーション（花粉交配）用蜜蜂の供給やハチミツ等の蜂産品製造販売などの養蜂事業から大手製菓メーカー向けゼリー飲料の受託製造等 OEM 事業まで幅広く展開。特にパウチ等軟包材を使ったゼリー剤のパッカー業務を強みとしており、HACCP や FSSC22000 等を取得して品質管理の向上に注力する一方、医薬品製造業許可を取得して医薬品・医薬部外品の製造も手がけている。
業種 <small>（産業分類区分 中分類）</small>	10 飲料・たばこ・飼料製造業
自社が持つ技術・素材・商品など	1804 年創業の材木商から巣箱作りを契機に明治 20 年（1887）「養蜂業問屋」に転じて以来 130 年以上に渡り養蜂の普及に注力。ミツバチの生態を研究し、昭和 38 年には医薬品としての生ローヤルゼリーの製造承認を国内で初めて取得。繁殖力が強く、安心・安全な「秋田屋系優良種」は、全国の養蜂家に重宝されている。医薬品部門として分社化した「日本養蜂」では産学共同研究を推し進め、数々の製品開発に役立ててきた。 OEM 事業では、本巢市内に有する医薬品工場にてゼリー剤のパッカー業務としては日本初となる大手製菓メーカーの医薬部外品の受託製造を手がけている。 「ミツバチの力を人の力に」を企業理念として、ハチミツ、ローヤルゼリー、プロポリス、花粉等の蜂産品製品の提供を通じて健康増進に資する事業を展開しており、今後は「CO <sub>2</sub> を O <sub>2</sub> に」をスローガンに花粉交配用蜜蜂の育成を企業や地公体等に普及させるポリネーション事業を通じて自然環境の改善に繋がる積極的な SDGs の推進に取り組む方針である。 食品、飲料のカテゴリー中心に軟包材（ストロー付パウチ）充填を得意としており、非食品系も含めて軟包材のパッカー業務でお役に立てる場面が多いと思料します。
興味がある技術・素材・商品など	IT 化・デジタル化技術
お困りごと・課題など	生産現場の業務の効率化、省人化に向けた取り組みのなかで、協業ロボットや AI ロボットの導入など実践経験のあるエンジニアや専門人材の確保が喫緊の課題となっています。